

第 23 回全国青年対策交流集会感想文

関西地方阪神支部青年部 日本高速輸送分会 前田勇太

2月24日～26日の3日間、豊橋シーパレスリゾートにて行われた「全港湾第23回全国青年対策交流集会」に参加しました。

コロナ禍の影響により約4年振りの開催となりましたが、コロナ対策を施しながらの開催となりました。

全港湾中央執行委員長の鈴木委員長による中央本部オルグ「全港湾の歴史について」や、全国港湾中央執行委員長の真島委員長による「原子力発電所建設阻止のたたかいから学ぶ」をテーマにした学習会や、各班に分かれての意見交換学習会が行われ、全国の青年世代層と交流や学習を行え有意義な時間でした。

各班、事前に3つの議題について分散会形式で議論を重ねました。

議題1が「キャラバンについて」

議題2が「青年部の活動について」

議題3が「理想の職場環境について」

各班それぞれの議題に沿った「まとめ」の発表を行いました。

中でも印象的だったのが、議題1のキャラバンについての話の中で2011年3月11日、福島県で東日本大震災の被害に遭われた、同じ班の東北小名浜支部の松村君から経験談や感想を発表されましたが、TVやメディアを通じて見るのと、実際の被災者の話や写真を見せて貰うのでは、伝わり方や本質が全然違い、改めて自然災害、原発の恐ろしさを実感しました。

脱原発の行動として全国展開するには、地域の人々の協力なども仰ぐ事や、キャラバン参加を少しでも多くの方に参加して頂く事も重要だと感じました。

これら3日間で学んだ事を阪神支部に持ち帰り、しっかり伝え皆んなで共有し、今年の年間スローガン『高き志と若き力で築こう、新時代！全港湾青年部』のもと、皆んなで頑張っていきたいと思います。